



町では、町民が明るく健康で生きいきとした生活が送れるように、様々な福祉サービスを行っています。今回は、重度身体障害者日常生活用具給付等事業と重度心身障害者医療費助成事業についてお知らせします。

重度身体障害者日常生活用具給付等事業

重度の身体障害者の皆様に対し、日常の生活を容易にするため、身体障害者用の浴槽、便器等の日常生活用具の給付または貸与を行います。

どんな方が対象になりますか？

- 身体障害者手帳1・2級をお持ちの方（一部3級含む）、またはこれに準じる方で、用具を使用しないと日常生活ができない方が対象となります。

どんな用具が給付対象になりますか？

- 日常生活の中での、利便性や安全性を確保するための用具で、浴槽・便器・特殊寝台・歩行支援用具等、体の状況に適應するために必要とする用具が対象となります。

費用の負担はありますか？

- 用具の給付等を受けた方、またはこれを扶養する方の負担能力（所得）に応じて、費用の一部を負担していただきます。

重度心身障害者医療費助成事業

重度の心身障害者の健康増進を図るため、医療に要した費用の自己負担分を助成し、重度心身障害者の生活の安定と福祉の向上を図ります。

どんな方が対象になりますか？

- 身体障害者手帳1・2級、または療育手帳（A、A1、A2）をお持ちの方。
- 身体障害者手帳3級かつ療育手帳（B1）をお持ちの方。

どんなものが助成の対象になりますか？

- 医療に要した費用（保険適用分のみ）の自己負担分に対して助成します。（食事療養費、差額ベット代等は対象となりません。）

平成15年4月から 支援費制度が始まります

障害者福祉サービスの利用のしかたが変わります

障害者に対する福祉サービスは、いままでは市町村が決定していた「措置制度」でしたが、平成15年4月からは利用者の自己決定を尊重した「支援費制度」となります。これにより、利用者自らがサービスを選択し、契約によりサービスを利用することができます。

- 役場住民課福祉係 ☎59-3111 または、担当地区の民生委員へお問い合わせください。

今年^{ひつじ}は末年

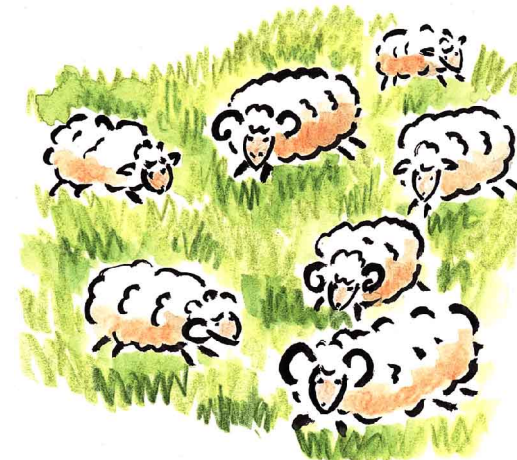
羊と人間は長い付き合い

羊が家畜化されたのは今から八千年以上も昔とされています。馬が家畜化されたのは五千年前ですから、羊と人間の付き合いはかなり長いこととなります。

西暦599年、推古天皇の時代に、百済から2頭の羊が贈られたと、日本書紀に記されています。しかし、羊は乾燥した風土が好きなので、湿気の多い日本の気候には合わなかったのでしょうか、あまり繁殖しなかったようです。近代になって政府は、消費者が増加した羊毛の国内自給を図るために、緬羊（羊の別称）の飼育を奨励しました。ここでも、気候などの影響による試行錯誤はありましたが、次第に頭数も増え続け、多いときには全国で百万頭近くが飼育されていました。現在では、北海道などを中心に、一万一千頭あまりとなっています。

羊は身近なもの

羊には、「おとなしい」「群れになる」などのイメージがありますが、何よりも私達が実感できるのは、ウールのセーターなどの「羊製品」です。羊からは、衣・食・住に関する様々なものが作られています。羊毛は衣類や寝具に、毛脂はせっけんや化粧品に、肉は様々な肉料理に、皮はバックや敷物に、腸はテニスラケットのガットに、乳はヨーグルトなどの乳製品に、といった具合です。十二支の中では比較的に薄肉の羊でも私達の身の回りにはたくさんの「羊」がいるのです。



羊を用いたことわざ

「羊」を用いたことわざがいくつもあります。「群羊を駆って猛虎を攻む」。弱い羊を集めて強い虎を攻撃するということ。勝ち目がな

いのに、弱いものたちが連合して強いものを攻撃するたとえ。「羊頭狗肉」は羊の頭を店先にしつるし、実は狗（犬）の肉を売る。見せかけは立派でも、中身

がそれに伴わないことを言います。「千羊の皮は一狐の腋に如かず」は、安い羊の毛皮を千枚そろえたところで（たくさんの凡人がいても）狐の脇から取れる高価な一つまみの毛（一人の賢者）には及ば

ないという意味です。羊は他の動物と並べられたい、比べられたいすることが多いようです。悩みを抱え、困っている人は「迷える子羊」にたとえられます。「多岐亡羊」はわかれ道が多いために、逃げた羊を見失ってしまうという意味で、方針が多いために、どれを選んだらよいのか困ってしまうことです。

目標を定め努力を

昨年はサッカーW杯開催など明るい話題もありましたが、長引く不況など全体的には暗い、厳しいニュースが続いた年でもありました。今年は、各個人が自分を見失わないよう、目標をしっかりと見定め、その実現に向かって頑張っていきたいものです。